

# おおぞら 議会だより

## CONTENTS

12月定例会	2
議員8名が一般質問	4
①川村議員	子ども医療費の助成拡充について
②森賀議員	水田活用及び畑作物直接支払交付金について
③岩原議員	公共施設等総合管理計画について ほか
④福田議員	合宿誘致事業の今後に向けて
⑤大泉議員	不用品のリユースについて
⑥上地議員	水資源の保全について
⑦後藤議員	大空町の30年後を見据えたまちづくりについて
⑧鈴木議員	高齢ドライバーの交通安全推進について ほか
先進地視察調査を行いました	14

  
No.67  
OZORA  
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和5年(2023年)2月28日

大空に  
人花心  
育まると



運動公園で北海道ならではの冬イベント「真冬の大冒険」(教育委員会主催)が開催されました。

参加した子どもたちはバナナボートやスノーフラッグ、スノーシューを楽しんでいました。

# 令和4年 12月定例会 12月20日～21日

# 一般会計予算に 1億1,022万円を追加補正し、 総額は92億9,192万円に

大空町議会 12月定例会は、令和4年度一般会計などの補正予算、指定管理者の指定や条例改正議案、議会側議案を審議しました。

管理施設の名称	指定管理者	指定管理（委託）期間
地域福祉センター	大空町社会福祉協議会	令和5年4月1日から 令和8年3月31日まで
東藻琴農村環境改善センター	フジケンビルサービス株式会社	令和5年4月1日から 令和8年3月31日まで

**指定管理者の指定**  
公共施設の維持管理について、民間運営による効率化を推進するため、指定管理者を指定することについて可決しました。

## 北海道大空高等学校 交流拠点施設条例を制定 令和5年4月1日から供用開始

### 財産の無償貸付

大空町医療計画に基づき医療供給体制を確保するため、病院周辺の土地及び医師住宅を医療法人社団双心会に無償貸付することに可決しました。

### 条例の一部改正

北海道大空高等学校交流拠点施設条例制定など、2条例の制定、4条例の一部改正について、可決しました。

### 北海道大空高等学校交流拠点施設条例制定

施設ができることで道外からも生徒が来る環境が整い、生徒募集にも期待が持てると思うが、町立高校として町内の中学生にもたくさん入学してもらいたいという考えもある。



建設中の交流拠点施設

**生涯学習** 高校は義務教育と異なり、生徒が自分の意思で将来の進路に合わせて志望校を選択することができるようになっており、町立を理由にして町内の中学生をすべて大空高校に入学させるという考えは、高等学校教育の法律上の本旨に沿うものではありません。

### 補正予算

令和4年度一般会計のほか、4特別会計の補正予算について審議し、可決しました。

### 各種施設の光熱水費

電気料等が高騰している中、省エネルギーに努めながらも、公共施設利用者の負担にならないよう協力を求め、光熱水費を軽減する働きかけも必要だと思つた。

### 総務課長

公共施設の節電等については、利用者にもさらなるご協力をお願いし、指定管理者も含め、町としての対応を進めたいと考えています。

**Q** コロナ禍により外国人青年が入国できないなど苦労があると思つたが、派遣委託料が9万8,000円増額となる理由を伺つた。

国際教育交流・外国語指導推進事業  
鈴木議員

**生涯学習** 人材会社と契約し、女満別、東藻琴地区に1名の外国語指導助手が勤務しています。12月まで会社経営を終了すると通知があり、新たな会社と契約するにあたり、派遣委託料に不足が生じるものです。

### 要望意見書

「物価高における農畜産物の適正な価格形成と農業経営の存続に向けた需給改善対策等の強化に関する要望意見書」について、可決しました。

### 例月出納検査報告

令和4年8月から11月までの各会計の現金の出納状況及び基金の状況について、検査実施結果の報告がありました。

## 11月臨時会

価格高騰緊急支援給付金などに9,369万円を追加補正  
11月29日に開催した第6回臨時会では、条例改正議案、一般会計補正予算などを審議し、可決しました。

### 条例の一部改正

民間と国家公務員の給与格差を是正するため、期末手当の支給割合を0.1月分引き上げる人事院勧告が行なわれたことを踏まえ、大空町議会議員の報酬、大空町特別職の給与、大空町職員給与、大空町会計年度任用職員給与に関する条例の一部を改正することに可決しました。

### 各会計補正予算

令和4年度一般会計補正予算では、暖房用灯油の価格高騰を踏まえた高齢者世帯等に対する支援事業、農業肥料や飼料の価格高騰により影響を受けている農業者への支援事業などの補正予算について審議し、可決しました。

補正予算（歳出）の主な内訳	
◆冬期生活支援業務委託料 (576万円) ・高齢者世帯などに1万円分の商品券を給付	◆肥料・飼料価格高騰対策支援金 (3,066万円) ・肥料1トンあたり1,200円、飼料購入1トンあたり960円を支援
◆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 (3,500万円) ・住民税非課税世帯などに5万円を給付	◆原油価格・物価高騰対策福祉施設等支援金 (830万円) ・福祉施設や病院等に対し、利用定員に応じて支援
◆原油価格・物価高騰対策中小企業者支援金 (1,300万円) ・1中小企業者に5万円を支援	

## 議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

3月定例会は、**3月7日(火)から**  
開かれる予定です。

※新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用・手指の消毒をお願いします。

## 親しまれる議会だよりを目指して

### ～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりにより町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を令和4年3月23日、10月27日に開催し、議会広報活動へのご意見をいただきました。主なご意見は次のとおりです。

- 毎回表紙も季節に合ったものが載っているし、以前より読むようになった。
- 若い人に読んでもらうためには、ぱっと見て読みたいって思うデザインが大事だと思う。
- こういう問題意識があるからこの質問をしたというのが書かれていると、読んでいる人達に伝わりやすく、次回以降にもつながるのではないかと。



早田和佳子さん 佐藤有紗さん 國府直輝さん

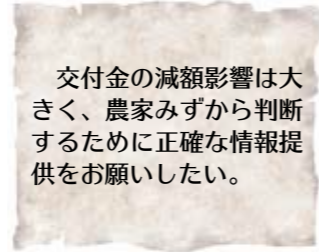


### 水田活用及び畑作物直接支払交付金について

森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(0分58秒から)



交付金の減額影響は大きく、農家みずから判断するために正確な情報提供をお願いしたい。

町長 令和3年11月、国は水田活用交付金の見直し方針として、令和4年度から令和8年度までの5年間に1度も水張りが行われない農地は、令和9年度以降は交付対象水田としない方針を示しました。水田を畑地化して高収益作物に取り組む場合は、10アールあたり17万5,000円。畑作物に対しては、14万円を支援するとし、さらに定着促進として5年間継続して支援するメニューも示されました。

問 水田活用交付金の交付条件の厳格化による農家の所得減少や、農地の資産価値低下等の懸念について。また、畑作物の直接支払交付金の交付単価の減額が農業者に不安を与えている現状について、町長の見解を伺う。

### 水田活用交付金の今後の対応について 判断材料となるモデルケースの作成を 町長 J A等と協議しながら作成し、生産者に提示していきたい

交付金ルールの厳格化により起こりうる懸念事項として、「復田を行う場合は品質や収量が十分になる」「水稲の作付面積増加に伴う米価格の下落が起こる」「畑地化をした場合、6年後から交付金がなくなるので収支が悪化する」「土地の売買価格の下落による資産減少」「水田用途でなくなるため水利権の問題が起こり、土地改良区の維持管理にも影響を及ぼす可能性もある」「多面的機能支払交付金の算定や農業基盤整備事業の採択要件等に影響が出る恐れがある」など、さまざまな課題を踏まえ、大空町農業再生協議会として今後どのような対応を考えているか意向調査を実施することとし、大空町の持続的な水田農業の将来像をしっかりと描くため、生産者やJA等関係

機関と連携を密にし、現場の課題を検証し、実情を踏まえた対応を検討したいと考えます。畑作物の直接支払交付金はまだ案の段階ですが、澱粉原料用馬鈴薯及びそば以外は引き下げとされており、特にてん菜については、交付単価が1トンあたり1,770円引き下げられ、5,070円とされています。国内の砂糖の消費量が近年減少傾向のため、国はてん菜に対して交付金を支給する生産者を55万トンまで減らす案を出しています。現在、JAめまんべつのでん菜共同育苗施設の増設工事を国の産地パワーアップ事業を活用して行っています。施設を増設により生産者の育苗にかかる労働時間を削減し、生産性の向上を図るものです。てん菜は、大空町において輪作体系を

問 機会があれば、畑作物の直接支払交付金の見直し方針、畑地化支援内容が国から示されていますので、JA等と協議をしながらモデルケースを作成し、生産者の皆様に示していきたいと考えています。

問 水田活用交付金の今後の対応について、意向調査を予定しているとのことであり、各農家の判断材料となるようなモデルケースの作成をお願いしたい。

また、生産費の高騰による負担増に対して、肥料飼料価格高騰対策支援事業として支援を行っていきます。



転作畑の馬鈴薯

町長 本交付金の令和5年度から7年度の交付単価というのがこれから正式に出されると思います。生産者の方々に大きな影響を与える情報でありますので、JAなど関係団体と連携を密にしながら、迅速に生産者の皆様に情報を届けていきたいと考えています。

町長 本交付金の令和5年度から7年度の交付単価というのがこれから正式に出されると思います。生産者の方々に大きな影響を与える情報でありますので、JAなど関係団体と連携を密にしながら、迅速に生産者の皆様に情報を届けていきたいと考えています。

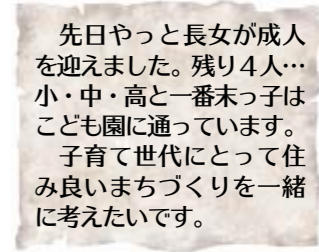


### 子ども医療費の助成拡充について

川村 淳 議員



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(17分15秒から)



先日やっと長女が成人を迎えました。残り4人…小・中・高と一番末っ子はこども園に通っています。子育て世代にとって住み良いまちづくりと一緒に考えたいです。

### 子ども医療費助成の所得制限撤廃を 町長 令和5年度の実施に向けて検討する

問 現在の子ども医療費助成制度は、一定の所得がある世帯は助成の対象外となっている。これまでの助成の経過、受診件数や医療費の現状、また、所得制限を撤廃した場合の財政における影響など、大空町の現状について伺う。

町長 子ども医療費の助成は北海道の給付事業であり、所得制限や一部の自己負担を設けたうえで通院は就学前まで、入院は小学生までを対象に全額助成しており、道内全市町村が共通する子ども医療費助成制度の土台となっています。これに加えて各市町村が子ども医療費助成制度を拡大しています。

大空町では、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目的に、中学生までの入院、通院の医療費について、所得制限を設けたうえで全額助成を設けたうえで全額助成している。子育て世帯の経済的支援に大きく寄与しているものと考えています。

町長 大空町では、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目的に、中学生までの入院、通院の医療費について、所得制限を設けたうえで全額助成している。子育て世帯の経済的支援に大きく寄与しているものと考えています。

町長 大空町における医療費の助成経過は、平成18年度は就学前までの医療費窓口負担額を助成していました。平成20年10月から小学生までの入院を全額助成とし、平成25年4月から小学生までの通院を全額助成、平成26年8月から中学生までの入院、通院を全額助成しており、対象者の範囲を徐々に拡大してきています。令和3年度の受給者数は661人、支給件数は延べ7,486件です。(支給件数及び医療費の状況)

Table with 3 columns: Item, Amount, and Subtotal. Rows include medical aid, living expenses, and totals for age groups and overall.

町長 大空町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画においても、具体的な施策の一つとして子育て世帯の経済的支援とあり、子育て世帯がいつでも安心して医療を受けられる環境を作ることから始めてはどうかと考えている。所得制限の撤廃について見解を伺う。

町長 移住・定住対策、特に若い世代に移住していただくためには、子育て支援施策が1番重要視されると考えていますので、取り進めたいと思います。

町長 所得制限を設けずに中学生までの医療費を無料化としている市町村は、通院では10市町村で管内全体の約55%、入院では11市町村で全体の約61%となっており、所得制限を設けない市町村が増加してきている状況です。

問 オホーツ管内市町村の現状を伺う。



### 地域コミュニティ施設について

## 女満別地区公民館の位置づけが変更となった経過は

町長 ▶ 合併後、旧東藻琴村に合わせ町民会館の位置づけに改めた

**問** 女満別研修会館は、集会的役割を果たす中央公民館として位置づけられるものとして認識しており、整備計画について伺う。

**教員** 研修会館は、主に文化活動の拠点施設として、また、市街地のコミュニティ施設としての役割を担っており、

**町長** 建設当初は社会教育法に基づく公民館として整備しましたが、合併前の旧東藻琴村は、地域の各種住民活動や生活改善活動など、地域社会の発展と生活するための向上に資することを目的とした町民会館に位置づけを変更してまいりましたので、これに合わせるように女満別地区の公民館も名称はそのまま、平成22年、町民会館の位置づけに改めました。

**問** 女満別地区では過去において社会教育施設として位置づけられていた公民館が、現在は住民課所管となっているが、その経過を伺う。



市街地のコミュニティ施設としての役割を担う研修会館

町民にとって重要な施設です。ことぶき大学の各クラブのほか、自治会活動、各種会議、健康診査など、利用の内容は多岐にわたっています。コロナ前は1年間で2万5,000人前後の利用があり、町民の生涯学習の支援やコミュニティの場として欠かすことができない施設です。

昭和47年度に建設され、約50年が経過し、経年劣化による老朽化が進んでいます。公共施設等総合管理計画の個別施設実施計画の中で、2026年から2035年の第2期

に建設することとなっています。地域住民が活動できる機能を盛り込んだ施設を検討したいと思っております。

**問** 高齢化社会を迎え、自治会活動や相談会、ふれあい等、地域のお年寄りが寄り添う場所の確保が必要になってきていると感じるが、行政機関施設では休館日や利用時間の制限があり、緊急な打ち合わせには使用困難となっている。

現在、町内各地に空き家が存在しているが、その活用を図るうえで、

空き家を地域コミュニティ施設として整備するためには、空き屋を取得するの借上げのほか、また、地域に貸し付けるとなれば維持管理費をどうするかといったさまざまな課題が考えられます。高齢者が気軽に集まり、お茶会など憩いの場を提供するという趣旨は十分理解できますが、今の厳しい財政状況を踏まえると、これまで同様、公共施設の利用を第一にお願いしたいと考えています。

**町長** 女満別の市街地には町民会館がありませんが、従前より研修会館、地域振興会館、老人福祉センター、学校開放事業を実施している女満別小学校など、使用できる公共施設を活用いただいています。

**町長** 地域コミュニティ施設として整備してはと考えるが、町長の見解を伺う。



自治会が所有管理する昭和会館

**町長** 高齢になって、歩くのが厳しいという声があるのも事実だと思いますが、それぞれの自治会に新たな施設を設けることは厳しいところだと思います。町にある施設を有効に活用いただいたなかで、地域コミュニティの醸成を図っていただければと思います。

**問** 運転免許証を返納し、地域の集いや相談に行けないお年寄りが増えている。地域コミュニティは、その地域の住民が生活している場所であり、交流が行われている地域社会を指すものだと考える。町が整備しなくても、自治会で施設を持つという方策もあると思うが。



## 公共施設等総合管理計画について

岩原 繁 議員



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(18分45秒から)

穏やかな新年を迎えた卯年の年、飛躍や向上の年として皆様共に大空町を盛り上げていきたいものです。

## 公共施設の一元管理化を町長 ▶ 利用者ニーズに応えるべく所管課が管理すべきと考える

**町長** 施設の有形固定資産減価償却率は、耐用年数に対して減価償却がどこまで進んでいるかを表すものであり、100%に近いほど償却が進んでいるということになります。公民館や会館のほとんどが耐用年数をすでに超過しているため、高い率となっています。

**問** 大空町公共施設等総合管理計画には、公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことで財政負担を軽減し平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要と書かれている。

地域コミュニティ施設の有形固定資産減価償却率は非常に高く、93.2%に達しているが、内容について伺う。



新築された住吉公民館

**問** この計画書の中で、この積算方法が記載されているが、お金がいくら掛かるのか心配している。その地域に必要とされている施設であっても、これから財政的な部分で考えたとき、人口減少等から統合することで計画されていくかどうか伺う。

**町長** 現行の公共施設等総合管理計画は、基本的にはその時点において、存続させていく、統廃合していく、廃止する、そういったものを踏まえて計画を立てたものです。したがって、今の公共施設等総合管理計画に掲載されているものについては、当然、再度建

**町長** 建築系公共施設は、それぞれ施設を所管する担当課や指定管理者が適切な管理と利用者の利便向上に努めており、耐用年数に応じた修繕を行っていくことを基本としています。

**問** 建築系公共施設の有形固定資産減価償却率は35から50%とされているなか、本町は60.2%で、平均より高い。

今後、償却率が高くなることが予想されるが、耐用年数が定められた順に、維持管理等の修繕が計画されているか伺う。

設するというような場合、統合ではなく建設し、これからも地域のために活用していくことが望ましいという判断のもとで作成しています。

ただ、これから先の将来において人口がどのようになるのか、地域がどのようになるのかによつては、統合や廃止というものも当然念頭に入れないければならないと認識しています。

**町長** 建物の更新などについても、全庁的な検討を行うなど、他の部署とも連携して対応しています。引き続き、安全で質の高い施設サービスの提供と適切な管理運営に努めたいと考えています。

**町長** 利用目的に応じて数多くの公共施設を保有しており、一元管理といった手法もあるかと思いますが、利用者の多様なニーズを把握し、状況に応じて適宜柔軟な対応が必要となることから、業務の関連性を重視し、所管する部署において管理していくことが適切であると考えています。また、施設改修にかかる有効な財源の確保においてもスムーズな対応が可能になるなど、メリットのほうが大きいと考えています。

**問** 施設管理は、所管課職員のみならず、民間等でも管理するところがある。建物の長寿命化を図るうえでも所管課を超えた一元管理が求められると思うが、町長の見解を伺う。

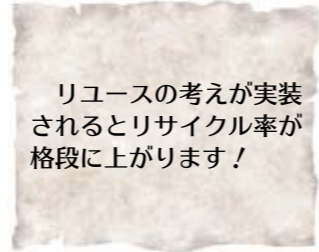


### 不用品のリユースについて

大泉 知功 議員



大泉議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(11分27秒から)



物欲が強い人と物がいらぬ人をつなぐ仕組みづくりを展開している企業があり、協定を締結し...



家電のリユース代表格のテレビや冷蔵庫

町長 高齢で車のない方に、重たい物を特定場所まで持つていただくという...

町長 大空町のリサイクル率は令和2年度実績では40.8%と全国平均の20%と比較しても...

町長 来年1月、2月ぐらいの締結を予定しています。協定締結後、ニーズの把握に努め、有効活用を図っていきたく...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

### 使える不用品はリユースを町長 来年からの事業実施に向け検討中

捨ててしまうの？ もったいない！ 欲しい人がいるかもしれません ~ 1月10日、大空町は「ジモティー」を運営する株式会社ジモティーとリユースに関する協定を結びました。不用品のリユースは、地域情報サイト「ジモティー」をご活用ください。町でも皆さんから回収した不用品(ごみ)でリユースできそうなものは、このサイトを利用して欲しい人を募集します。 ~ ジモティーを使って家具・家電をリユースするには会員登録が必要です。 [登録はこちらから] ->

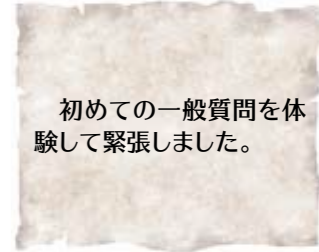


### 合宿誘致事業の今後に向けて

福田 淳一 議員



福田議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(0分52秒から)



町長 令和2、3年度は、感染症拡大防止の観点から、すべての受け入れを中止し、今年度は、教育文化合宿実行委員会において感染症対策ガイド...

町長 来年1月、2月ぐらいの締結を予定しています。協定締結後、ニーズの把握に努め、有効活用を図っていきたく...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...

町長 情報提供については、広報やさまざまな媒体を活用します。リサイクル品の収集、運搬については、方法や集積する場所の確保、フリーマーケットのような交換する機会づくりなど...



バスケットボール合宿交流試合



# 大空町の30年後を見据えたまちづくりについて

後藤 忍 議員



後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(46分47秒から)

アドベンチャートラベル・ワールドサミットが北海道で開催されます。道東地域の観光資源が注目されると良いですね。詳細は北海道運輸局のホームページをご覧ください→

**町長** 平成27年に第1期、令和2年に第2期総合戦略を立て、各種施策に取り組んでいますが、人口減少に歯止めをかけることができていないというのが正直な感想です。国立社会保障人口問題研究所による平成27年国勢調査結果を基準とした将来推計人口は、令和22年に5,138人、令和32年に4,279人になると推計しています。令和4年4月の人口は6,814人で、令和2年国勢調査による人口6,821人と比較すると7人減少していることになり、第2期総合戦略で掲げた大空町が目指す令和2年将来人口6,925人を

**問** 人口減少対策を進める視点として、移住・定住の推進及び関係人口の増大に向けて、現在の状況と課題について伺う。

既に下回ったものの、令和7年の将来人口は6,472人であり、この2年間は減少幅も少なく、これまでのさまざまな取り組みが多少なりとも効果が現れたのではないかと考えています。地方創生の取り組みについては、人口減少対策がすべてであるとは考えていません。大空町の基盤である農業の振興、福祉施策の充実、そして教育の充実などのさまざまな対策を柔軟に社会情勢に合わせながら対応し、大空町総合計画並びに総合戦略を確実に、そして着実に推進したいと考えています。

人口減少対策を進める視点として、移住・定住の推進及び関係人口の増大に向けて、現在の状況と課題について伺う。

また、本町は自然環境に恵まれ、空港所在の町という優位な立地であることから、関東を中心に移住や二拠点の居住先として大空町を希望される方が多くなってきていますが、日中に比べ夜間の滞在人口が少ない通過型の観光地となっており、そうした課題を解消するため、観光振興を図り、交流人口を増大させるとともに、地域の関心を持

## 将来を見据えたまちづくりの実現に向けて町長の考え方は

### 町長 さまざまな課題に向き合って取り組む

**問** 若い世代が働く世代となっていく今後の30年に向けて、大空町が取り組むべき課題について伺う。

既に下回ったものの、令和7年の将来人口は6,472人であり、この2年間は減少幅も少なく、これまでのさまざまな取り組みが多少なりとも効果が現れたのではないかと考えています。地方創生の取り組みについては、人口減少対策がすべてであるとは考えていません。大空町の基盤である農業の振興、福祉施策の充実、そして教育の充実などのさまざまな対策を柔軟に社会情勢に合わせながら対応し、大空町総合計画並びに総合戦略を確実に、そして着実に推進したいと考えています。

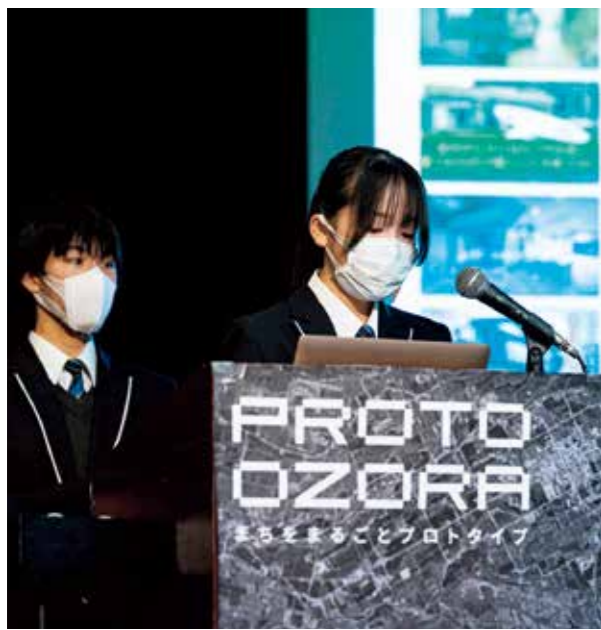
今年度の移住者数は現時点で昨年度を上回るなど見える成果として少しずつ現れていますが、空き家バンクの登録件数がなかなか確保できず、移住相談者の増加に対し、供給量が追いつかない状況になっていきます。

**問** 大空高校生が「関係人口創出」をテーマにアイデアづくりに取り組み、町に対する政策提言を公開で実施したが、率直な感想を伺いたい。

このいった高校の取り組みは、町としてこれからも応援していきたいと思っています。

関係人口を増やす取り組みを進めることが、移住、そしてその先の定住促進のために大変重要なことと考えています。

学年の半分以上が町外者ということで、大空高校自体が、ある意味関係人口を創出してきています。その関係人口の方々をしっかりと育て、教育し、社会に向けて羽ばたいていける取り組みを継続していくことが、大空町の発展、まちづくりに大きくつながると期待しています。



大空高校生が政策提言した「プロトオゾラ」



# 水資源の保全について

上地 史隆 議員



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(26分12秒から)

水資源を守り、次世代に引き継ぐのは私たちの使命であり、責務です。

## 水資源を守るために保全地区を指定すべき

### 町長 北海道条例による指定は慎重に検討

**問** 水資源は、森林を初めとする豊かな自然環境が持つ水源涵養環境により保たれており、安全で安心な生活や農林水産業を初め、産業が健全な発展を遂げていくうえで欠かすことができない貴重な財産である。近年、水源周辺において利用目的が明らかでない大規模な土地取引の問題も全国で発生しており、多くの市町村が懸念をしている。

和地区以外ほとんどが農地で、東藻琴末広地区の湧水は町有林内、山園地区の湧水は国有林で取水しています。新規水源調査は、平成26年から調査を始め、湧水量や水質などを観測し、本年1月まで用地交渉を行っていましたが、合意に至ることが困難と判断し、現在交渉を中断している状況です。また、これとは別に、網走市の水道水源が東藻

北海道では、海外資本等による森林取得状況について調査を行い、平成24年度から毎年公表している。令和3年12月末現在、面積は3153ヘクタール、所有者数は230者だった。日本の民法第207条には、土地の所有権は法令の制限内において、その土地の上下に及ぶと規定されている。地下水などの貴重な資源が採掘されてしまつのではないかと考えるが。

**町長** 水源は、将来世代にわたって引き継がなければならぬ、非常に貴重な財産であると認識しています。水源周辺の水質は、ほとんどが農用地や森林整備計画の位置づけがされた森林となっており、無秩序な土地開発が行われる危険性は高くはないと思います。土地所有権の移転など事前に把握できない場合もあり、将来的なリスクにつながる可能性は否定できませんので、北海道の水資源の保全に関する条例による指定について、慎重に検討したいと考えています。

**問** 新規水源の用地交渉は、なかなか難しいだろうと考える。今後必要はあるが、網走市ともしっかりと協議を行い、一刻も早く、女満別地区にも東藻琴の良質な水を提供してほしい。

大空町の水源地はどのようなものか、また、女満別地区の水質改善のために東藻琴地区で行われている新規水源調査は、その後、進展はあるのか伺う。

大空町の水源地はどのようなものか、また、女満別地区の水質改善のために東藻琴地区で行われている新規水源調査は、その後、進展はあるのか伺う。

水源を利用している網走市とも連携し、北海道と協議をして保全地域の指定を検討してほしい。

**町長** 人口が減少していく中、水道施設を維持管理していくために、網走市と協力しながら実施できれば将来的な負担も少なくなり、新規水源よりも早くおいしい水を届けることができるようになるのではないかと考えています。

**町長** 女満別地区では7カ所の井戸、東藻琴地区では2カ所の湧水を水源に使用しています。女満別地区の井戸は、昭



良質な水を供給する東藻琴第1水源



### 環境と調和した太陽光発電の推進について

## 地域の自然や生活環境と調和した施設づくりの推進を

町長▶現状を確認し、地域の皆さんの声を聞き、条例制定の必要性の有無を内部検討したい

**町長** 本町にも太陽光発電パネルが設置されている場所が複数あり、承知してはいますが、施設等の整備に起因する景観の阻害や生活環境への悪影響等のトラブルの発生、または住民からそういった声があがったことではなく、再生可能エネルギー発電施設整備のあり方に関する条例制定は、検討していませんでした。今後、景観を阻害している等の声が地域からあがってきたときには、景観を保全するという意味の条例制定について、検討していく必要が出てくると認識しています。

**問** 太陽光発電施設が本町においても増加している。施設づくりは、地域の自然環境、近隣居住者の生活環境等との調和に配慮して進められることが基本である。環境と調和した太陽光発電推進に関する町民合意の基本的確認事項を規定した条例等を定めておくことが、持続可能なまちづくりの一環になると思うが。

**町長** 環境省が令和2年に太陽光発電の環境配慮ガイドラインを作成したが、法的拘束力はない。現実問題として、住宅街の南側に太陽光パネルが設置される可能性がある事例が今後増える懸念もある。町としてどう対応していくのか。斜里町、鶴居村、宮城県登米市では、環境に配慮した太陽光発電施設等に関する条例の整備が進んでいる。先行事例を参考に検討してはどうか。

**問** 太陽光発電施設を制限するというのも

**町長** 調整すべき事項が多岐にわたっており、関係者や地域住民とも十分協議していく必要があります。太陽光発電を初めとする事業用の再生エネルギー発電施設にかかる現状について確認し、施設付近の住民の声を聞くなどして、そのうえで条例制定の必要があるかどうかを考えると、スタートと思っています。

**問** 環境に配慮して推進し、地域コミュニティや生活環境の整備を図ることが第一であり、この町に住んでよかった、これからは住み続けていきたいという人が増える施策の一環として条例を検討してはと思うが。



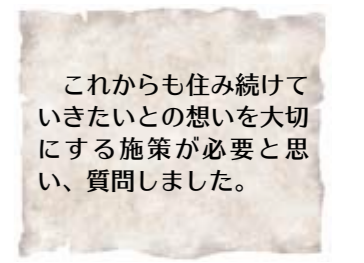
市街地の太陽光発電パネル

### 高齢ドライバーの交通安全推進について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(29分37秒から)



## 高齢者運転免許自主返納支援事業の実績と今後の展望は

町長▶事故防止の観点から必要な事業と認識 令和7年の期限までに十分検討したい

**問** 高齢者運転免許自主返納支援事業は、令和2年4月から開始された令和7年までの事業で、中間年を経過した。現時点での評価と今後の事業展開について見解を伺う。

**町長** 本事業は、75歳以上の方の返納時一回限りの支援で、この方法が良いのか、福祉施策の福祉タクシー券等の拡充による持続的支援が良いのか、または、全く違う支援策にするのか、現段階では決め切れていません。

**問** 事故防止の観点からは、免許自主返納事業は必要があると考えていますが、高齢者の外出支援、車を運転されない高齢者の方の移動手段確保等との関連も考慮し、令和7年の期限までに十分検討していきたいと思えます。

**町長** 冬道安全運転講習会が高齢者だけではなく、移住者や免許取得間もない方、運転に不安がある方を対象にオートック自動車学校の協力を得て例年開催されています。

**問** 運転免許自主返納支援報奨金3万円の額は自主返納を促すもので、令和3年度は、当初見込み数より申請数が多く、補正予算を組んでいる。申請数の把握は難しいが、自主返納を決定した申請者の意向を尊重し、予算を確保する必要はあると思うが。

**町長** 自主返納事業は、事故を起こさないことに繋がるので、引き続き、必要な予算は確保していきます。

**問** 運転免許自主返納支援報奨金3万円の額は自主返納を促すもので、令和3年度は、当初見込み数より申請数が多く、補正予算を組んでいる。申請数の把握は難しいが、自主返納を決定した申請者の意向を尊重し、予算を確保する必要はあると思うが。

**住民 課長** 高齢ドライバーの自主返納の実績は、令和2年度は30名(農村部20名、市街地10名)、令和3年度は47名(農村部29名、市街地18名)、令和4年度は12月受付分で25名(農村部12名、市街地13名)になっていました。

また、オートック自動車学校には、運転シミュレーターがあるので、高齢者を対象とした運転技能講習会等の開催は可能ではないかと思えます。主催の大空町交通安全協会と協議し、検討します。

令和4年度に開催した合同常任委員会の主な審議案件は以下のとおりです。

- 5月12日 ・大空町冬期生活支援事業実施状況 ほか4件
- 6月13日 ・大空地区河川防災ステーション整備事業について ほか2件
- 6月29日 ・令和3年度滞納状況及び滞納取組状況について
- 8月31日 ・大空高等学校交流拠点施設について  
・斜網地区ごみ処理広域化について ほか1件
- 9月13日 ・役場庁舎等大規模改修工事のスケジュールについて ほか1件
- 10月24日 ・北海道大空高等学校交流拠点施設条例の制定及び北海道大空高等学校寄宿舎条例の一部改正について ほか5件
- 11月21日 ・大空高等学校農業施設等の活用について ほか2件
- 12月 8日 ・役場庁舎等大規模改修工事について
- 12月21日 ・第2次大空町総合計画実施計画の令和4年度ローリング結果について ほか2件
- 1月20日 ・みらいハイスクール構想について  
・網走刑務所住吉作業所利活用事業について

議会基本条例では、議員が積極的に地域に出向き、直接町民の方に議会活動状況を報告し、町民の意見を聞く機会を設定することになっています。今後も分かりやすい議会運営に努力していきます。次回議会日よりでは、議会報告会の状況をお知らせします。

### わかりやすい議会を目指す活動紹介

大空町議会では、平成24年に議会基本条例を制定し、町民にわかりやすい議会運営を目指しています。条例では、町民と議会との関係について、「議会は、情報公開によって透明性を高め、審議等における論点や争点についての説明責任を果たします。」「開かれた議会を構築するため、本会議、常任委員会を原則公開とし、審議に用いる議案を支障のない範囲で傍聴者に提供します。」と定めています。

議会は、6月、9月、12月、3月の年4回定例議会が開会されます。議会が開会されていない期間でも常任委員会は開催されています。議員は、総務厚生常任委員会、産業建設文教常任委員会のどちらかに所属することになっており、令和4年4月から令和5年1月末までに両常任委員会ともに14回開催しています。

総務厚生常任委員会と産業建設文教常任委員会では、町各部局から説明を受ける事項で、所管の委員長がもう一つの委員会と合同で説明を受け慎重に審議すべきものと判断した場合は、委員長に申し入れして、合同で審議することになっています。令和4年4月以降、合同常任委員会は10回開催しています。

各常任委員会の審議案件名は、大空町議会のホームページからご覧いただけます。

※QRコードを読み取りください▶



令和4年11月14日から17日

総務厚生常任委員会行政視察報告

委員長 三條 幸夫

排熱を利用した発電設備を付加したごみ焼却処理施設、リサイクル率の向上や焼却処分を減らすための住民主役の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組みを視察



令和4年10月31日から11月2日

議会運営委員会行政視察報告

委員長 上地 史隆

タブレット端末を活用した議会運営、住民意見交換会など、先進的取組みを視察



兵庫県丹波市 ~焼却施設でバイナリー発電~
丹波クリーンセンターの焼却処理施設は、ストーカ方式炉2炉を備え、処理量46t/日未満の小規模焼却施設では国内初となるバイナリー温水発電装置を導入した施設です。
発電装置は、余熱を利用して年間約154,000kwh発電し、施設内照明の一部電源として使用されています。残念ながら視察時は、落雷で故障修理中でした。
焼却処理は、24時間連続稼働で投入したごみの自力燃焼で焼却処理する省エネルギー対応であり、補助燃料として灯油を着火時に使用されています。焼却灰量は投入量の10%で、最終処分場へ搬出処理されています。

丹波市では、「循環型まちづくり計画」を作成し、市民とともに廃棄物の適正処理、減量化、資源化への意識啓発に努めるとともにリサイクル、リユース事業を推進するためクリーンセンターに環境教育施設機能を付加し、不用品を活用したステンドグラスづくりなどリサイクル製品の作成指導と作品展示が行われていました。

※ストーカ方式：炉内部の階段状の火格子が前後に動き、ごみと空気が効率的に接触し安定的に燃焼させる方式。
※バイナリー発電：水より沸点の低い作動媒体（代替フロン、水とアンモニアの混合液等）を熱交換器によって加熱、蒸発させ、この媒体の蒸気でタービンを回し発電する。加熱流体、作動媒体と二つあることからバイナリー式と呼ばれる。

徳島県上勝町 ~日本初のゼロ・ウェイスト宣言~

1998年までは、ごみを野焼き焼却処理しており、廃棄物処理法改正に伴い小型焼却炉を導入したが、2001年ダイオキシン検出を機に焼却施設を閉鎖。以降、住民主役の3Rに取り組み、2003年に日本初のごみを「ゼロ」にすることを目標に廃棄物を減らす「ゼロ・ウェイスト宣言」をし、現在では、ごみを資源として活用するため45分類に分別し、ごみリサイクル率81.1%を達成しています。



ごみ収集車はなく、町内1カ所だけのゴミステーション「ゼロ・ウェイストセンター(WHY)」に町民が持ち込む方式がとられています。

施設は、2020年5月に開業した資源ごみ分別場の「ゴミステーション」、「くるくるショップ」、「ゼロ・ウェイストアクションホテル」、「セミナールーム」などからなる環境型複合施設です。施設の外壁は、新材を使うよりも町民の家で活用をしていた思い出のあるものを使いたいと呼びかけて集めた不用となった建具が使われていました。

名称のWHY(ホワイ)と建物屋根のクエスチョンマーク形状は、「なぜそれを買うのか・なぜそれを捨てるのか・消費とゴミについて深く考えてほしい」という思いが込められています。

人口は、1500人と小規模ですが、不用品を再活用するリメイクショップ「くるくる工房」や資源分別、マイバッグ持参、量り売り商品購入等でポイント付与する「ちりつもポイントキャンペーン」等、住民主体、住民参加型のごみ処理活動が進められており、本町においても参考となる事例を視察できました。

※ゼロ・ウェイスト：ごみをゼロにすることを目標に廃棄物を減らす環境社会政策。住民主役の取組みで3Rを徹底する。
※3R：Reduce リデュース(ごみの発生を抑制)・Reuse リユース(くりかえし使用)・Recycle リサイクル(使える部分を取りだし再利用)

「行政視察調査を終えての所感」

人口規模の大小に関わらず共通するものがたくさんあり、どちらの施設もごみ処理に掛ける経費の削減にはリサイクルを挙げており、本町でもゴミを作らない、出さない等の工夫が必要であることを確認することができました。今回の視察調査で得たことを活かし、大空町のゴミ処理の課題解決に取り組んでいきます。



芽室町議会 ~タブレット端末を活用した議会運営、町民意見交換会~
タブレット端末導入により、すべての会議の議案、資料等をペーパーレス化し、議員活動で活用を進めていました。また、タブレット端末を活用したネットミーティングの実施、電子採決システムの導入・運用など資料視覚化の促進、議会中継システム強化を図るとともに、ホームページの更新によりネット中継の強化、SNS等の活用も図りながら住民に対する情報発信にも努めていました。

町民との意見交換の取り組みとして毎年開催している議会報告と意見交換会は参加者が減少しており、対策として講師を招いたフォーラムの開催、少人数によるワークショップの導入、PTAや地域団体、地元の高校と包括連携協定を結ぶことにより、多様な住民参加の機会づくりに努めていました。

留萌市議会 ~タブレット端末を活用した議会運営、市民意見交換会、議会意見箱~

議会改革の課題である議会ICTを推進するため、タブレット端末の導入により、資料のペーパーレス化、サイドブックス(クラウド)による情報の保存と共有、ホームページやSNS等の活用も図りながら地域住民に対して、議会の情報発信に努めていました。



市民との意見交換会を毎年開催していますが参加者が減少しており、対策として市内の各団体、中学生、高校生も対象に含め、多様な住民参加の機会づくりに努めていました。

意見を幅広く収集するために市内各所に意見箱を設置していますが、執行部に対する要望や苦情が多数で、議会や議員に対する意見が増加しない限り、継続については検討が必要とのことでした。



稚内市議会 ~タブレット端末を活用した議会運営、市民意見交換会及びSNSを中心としたゼロ予算での議会広報~

情報伝達や共有を迅速に行うためにタブレット端末、ペーパーレス会議システムを導入していました。これらのシステム導入により、議案などの審議資料の印刷代、郵送代、人件費の削減はもとより、最新の情報を常に携帯することにより、議員のネットワーク向上、活性化に取り組んでいました。

予算をかけずに市民へ情報発信するため、SNS(フェイスブック)を中心に既存の各コンテンツを連携し、広報機能の強化を図っていました。審議内容など議会活動の記事を毎日投稿しており、既存の議会広報やホームページ、映像発信等と連携し、市民への議会情報への接点を増加させ身近に感じられるよう努め、SNSのアクセス統計解析機能で市民ニーズを常に調査し、その後の住民への情報発信強化の取り組みに努めていました。

「行政視察調査を終えての所感」

人口規模の違いはありますが、本町でも今後タブレット端末を導入し、資料のデータ化によるペーパーレス化や情報の保存と共有を進めたいと考えています。また、ホームページやSNS等の活用も図りながら、地域住民に対して、議会の情報発信にも取り組んでいきます。



# Voice 声 町民の



## 第二の故郷

齋藤 紗江さん  
(女満別豊里)

私が大空町に移住したきっかけは結婚です。私の地元は東京ですが、大学を機に網走に移住し、北海道の自然や美味しい食べ物に魅力を感じて永住を決め、そこで出会った人が今の旦那さんです。

大空町に約1年住んでみて、私が思う大空町のいいところは、空港があるところ、自然豊かなところ。地元へ帰省したい時にすぐ行ける距離に空港があるのはとても便利でありがたく思います。また、鹿やリス、白鳥、丹頂鶴といった野生動物を間近で見ることができたり、

栗やこくわ、山葡萄といった食用可の植物が自生していたりと、東京にはない自然の豊かさがとても魅力的です。それに反して、大空町の悪いところは、公共交通機関と商業施設が少ないことです。高齢化社会において公共交通機関の充実、暮らしにおける利便性の向上や事故を未然に防ぐことにつながります。また、商業施設の増加は利便性向上だけではなく町の経済循環にもつながりますので、検討していただければ幸いです。

### なつかしの校舎



女満別 大東小学校

大東小学校は、明治43年「女満別教育所所属東女満別特別教授場」として諏訪農場の空き家を改造した仮校舎で開校しました。新校舎は、翌明治44年12月に落成。入植者の一人である水野喜和治氏が先生となり12人の児童が地域の人々が手づくりした机と椅子に着き授業が始まったと「郷土史大東」に記録されています。現在の道道福住女満別線巴沢入口付近でした。大正5年、児童数は50名を超え、大正6年に東女満別尋常小学校となり、大正9年に現在の大東公民館のある地点に校舎を移転新築しました。

昭和11年、町内の字名改正に伴い大東尋常小学校に校名を変更し、昭和16年に大東国民学校、昭和22年に大東小学校となりました。昭和35年には創立50周年記念式典が挙行されました。

昭和39年に女満別小学校と統合になりました。卒業児童数は、441名でした。



有限会社

## 山田電気

— 営業品目 —

電気工事設計施工  
防災設備設計施工  
照明器具販売  
電気器具販売

〒099-2326

網走郡大空町女満別西6条3丁目5番10号

TEL 0152-74-3830 FAX 0152-74-4638

E-mail: yamaweb@beige.plala.or.jp

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

### 編集後記

年末年始と冷え込みましたが、穏やかな天気に恵まれ過ぎることができました。今年が良い年になるように願うばかりですが、当分コロナ感染症終息は見込めませんので、前を向き進むことを考え日々生活していくことが大切かと強く感じています。

早くも、4回目の議会日より発行となり、先日の議会広報モニター会議でのご意見を取り入れながら、興味、関心を持てる広報誌づくりに、広報委員一同協力して作成に取り組んで参ります。

是非、ご覧ください。

(福田)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)  
委員 鈴木秀之  
副委員長 上地史隆  
委員 森賀祐司  
委員 福田淳一  
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いたします。

UD FONT

議会だより「おおぞら」  
第67号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行/大空町議会  
編集/議会広報常任委員会  
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号  
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191  
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

